星と向日葵

昨日は、生徒会専門委員会でした。今年度最後の専門委員会でした。これまでの振り返りをしました。私は来年度に向けての会議があり、残念ながら専門委員会の様子を見れませんでした。聞いたところではどの委員会もしっかりと振り返りをすることができ、よい会であったとのことです。

さて、まもなく今年度が終わろうとしています。今年度を振り返った時、個人的に一番大きな出来事は、太宰府西中学校に赴任したこと、そして『**太西星**と**向日葵**』に出会ったことです。

太宰府西中学校生徒会執行部の皆さんは、本当によく活動をしてくれています。毎朝のあいさつ運動も頑張ってくれていますが、各委員会のユニークな取組が素敵でした。ユニークなネーミングですが、活動内容は学級や学校がより良くなるための工夫されたものであり、取り組むことによって成長が見られるものです。ですから、毎月の取組名を見るのが楽しみでした。また放送も効果的に活用しており、活動がより徹底されました。

やはり学校は生徒が主となって活動することで、より良くなるものです。教師があれこれと指示するよりも、生徒自身が考え、行動することで取組が本物になります。「言われたからする」とか「見られているからする」では本物になれません。自分達で学校を良くしようとするからこそ、活動が本物になっていきます。執行部の提案に対し全校生徒の皆さんがしっかりと取り組んだことにとって学校がより良くなる＝**本物**へとなりました。

この１年間、第３６期、３７期の生徒会執行部の皆さんは『本物づくり』に励んでくれました。とても感謝します。そしてそれに応えた太西星の皆さんも素晴らしいと思います。

これからも皆がさらに輝き、伸びて、校内に満開の笑顔を咲かせてほしいと思います。